

古田嘉章氏文書(1)概要

1: 文書群番号	074012
2: 文書群名	古田嘉章氏文書(1)
3: 出所	古田嘉章家
4: 家業・役職等	時友村庄屋・戸長
5: 地名	摂津国武庫郡時友村／兵庫県武庫郡時友村／武庫郡武庫村時友／尼崎市時友／尼崎市武庫之荘9丁目ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	<p>時友村は、市域北西部に位置する。史料上の初見は応永29年(1422)「足利義持寄進状」(醍醐寺文書／『尼崎市史』第4巻)で「野間庄内時友名」とある。中世から近世にかけて野間荘が野間・友行・時友の3村に分離していったものと考えられる。</p> <p>村高は慶長10年(1605)に268石余、元禄15年(1702)・天保5年(1834)に307石余とある。また天和・貞享年間(1681～1688)には家数42軒・人数212人、天明8年(1788)には41軒・220人であった。富松井組に属した。氏神は友行の須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は浄土真宗本願寺派万福寺。</p> <p>昭和40～平成元年(1965～1989)の住居表示により、時友という地名は消滅した。</p>
8: 伝来	市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に古田嘉章氏が史料館へ寄託。
9: 史料入手先	古田嘉章氏
10: 点数	292点(目録件数166件)
11: 年代	慶安5年(1652)～明治27年(1894)
12: 構造と内容	<p>本文書群は、大半が近世史料で、一部明治期の史料も含まれている。</p> <p>①支配関係、②土地関係、③戸籍・宗教関係、④用水関係、⑤金融関係史料等からなる。</p> <p>①は御触書、諸事留控帳などがあり、②は検地帳・名寄帳等の土地台帳などがある。</p> <p>③は万福寺及び氏神関連史料のほか、人別送り状がまとまっている。</p> <p>④は野間井用水争論が中心であり、⑤は金銭貸借証文がまとまっているほか、頼母子講関係史料も多い。</p> <p>また時友村の村絵図も数多く残されていて目を引く。</p> <p>古田嘉章氏文書(2)377点、同氏文書(3)215点と本来一体である。</p>
13: 関連史料	古田嘉章氏文書(2)、同氏文書(3)
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央